



町制60周年記念特集

～これまでも、これからも、箱根とともに～

年間2,000万人もの来訪者が訪れる国際観光地ー箱根。国内外から愛され60歳を迎えました。皆様から箱根に寄せられた想いを紹介します。

「町制60周年おめでとうございます。」

10年前、箱根町が町制50周年を迎えた頃、地元の少年野球チーム「箱根フリッパーズ」で野球の楽しさを覚えました。
中学生のときは、小田原足柄シニアの一員として、初めて全国大会を経験しました。
東海大学菅生高校に進学後は、2年生の時の秋の東京都大会で優勝し、春の選抜高校野球大会に出場しました。残念ながら1回戦で負けてしまいましたが、町から大勢の方々からバスで応援にかけつけてくれたことには本当に感謝しています。この試合での打撃が日本代表監督の目にとまり、この年(2015年)の夏に日本で行われた18歳以下のWBSCに出場し、よい成績を収めることができました。
私は、これまで箱根の豊かな自然環境と地域の方々の応援に支えられ、野球に集中して取り組んで来ることができました。昨年、山口町長にお会いした際に、激励していただいたことも良い思い出です。
町が60周年を迎えた今年、私は、国際武道大学に進学し、プロ野球選手を目指して日々練習に取り組んでいます。町が70周年を迎える頃には、プロ野球選手として活躍していることを目標に今後とも努力していきますので、これからも応援をよろしくお願いいたします。 宮城野 勝俣翔貴さん



「町制60周年 おめでとうございます。」

私は昭和31年、横浜の鶴見中学校より母校・仙石原小学校に勤務いたしました。町村合併の年、仙石原小新校舎も完成、子供達、教職員、父母住民希望に燃えた当時であったと思います。然し戦後の厳しい物不足もまだまだございました。その様な中、教育文化を大切にす町の施策として教育備品について心配して下さいました。当時私は理科主任として学校長に特にお願いし、実験・観察等の備品18万5千円予算を戴き東京の内田洋行の本社に出向き必要備品を整えることが出来ました。気象観測の「百葉箱」は地元の大工さん、塗装は父母の御協力です。校庭の植木も父母の御寄付、等々町の御配慮、父母、地域の皆様の数々のご支援ご協力が思い出されます。
昭和31年11月12日校旗を先頭に荷物を持って国道を新校舎へ移転、当時のことをいくつか思い出して見ました。どうぞ今後とも教育文化を何より大切にする箱根町でありますよう。
仙石原 勝俣 睦さん



「未来の箱根町に託したいこと」

町制60周年おめでとうございます。寄木細工に心を奪われ、何度も町にお邪魔している身として、心からお祝いの言葉を申し上げます。寄木細工を初めて見たときの衝撃は今でも忘れられることができません。複雑な模様、素材の木の美しさ…。手に取り、その肌触り、木のおい、ずっしりとした質感を感じたとき、こんな素晴らしい工芸品がある日本に生まれたことに思わず感謝したことを昨日のこのように思い出します。と同時に、これほど美しく、機能性に優れた工芸品を作り続けている職人のみなさんに心から畏敬の念を抱きました。それから私の箱根通いが始まりました。お小遣いをためては、少しずつ小品からコレクションを増やしていきました。秘密箱の巧みなつくりになつたこともいい思い出です。私は、こんな素晴らしい工芸品は、ほかにはないと思います。箱根町のみなさんには、寄木細工を町の宝として、未来に受け継いでいってほしいと思います。 東京都江東区 山野拓郎さん



「思い出のグッズ」

私の母校、町立湯本中学校の帽章と襟章、バスケットボール部のユニフォーム、それに創立10周年当時の記念誌です。これらを見ていると、「うららびもゆる箱根路や〜♪」で始まる校歌の旋律が脳裏に浮かんできます。
クリクリ坊主頭で過ごした3年間から、既に半世紀もの月日が流れました。学校統廃で廃校となった今でも、心の中には忘れ得ぬ学舎として鮮明に残っています。
ただ、2年毎に継続して開催している同窓会への出席者が回を追って少なくなってきているのは淋しいものです。
学校創立20周年の節目の年に在籍していたことや、第2回交換中学生として姉妹都市の虻田町(現在の洞爺湖町)を訪問させていただいたことなど、小さな宝物を慈しむように懐かしく思い返しています。
子どものころから私の心身を育ててくれた愛する箱根町。選歴を機にますますの発展を祈るとともに、郷土箱根のために自分ができることについて、改めて思いを巡らせている今日この頃です。
小田原市 信濃行治さん



60周年を祝う行事 ~みんなで60周年を祝おう~

町制60周年記念式典

次のとおり記念式典を開催します！
日時 平成28年9月30日(金)9時30分～12時
場所 仙石原文化センター
内容 オープニング 和太鼓演奏
功労者表彰
記念講演会
アトラクション「湯立獅子舞」



来訪者の方と60周年をお祝いします **町立施設無料開放!**

期間 9月30日(金)～10月2日(日)

対象施設
郷土資料館
箱根関所・関所資料館
森のふれあい館
箱根ジオミュージアム

※町内在住の方は期間以外も無料です。

60周年記念企画展(写真展)&巡回展

あの時、あの場所で…60年を振り返り懐かしの時代へタイムスリップ!!

企画展	期間	場所
	9月22日(木)～11月13日(日)	郷土資料館
巡回展	期間	場所
	9月7日(水)～9月22日(木)	レイクアリーナ箱根
	9月24日(土)～10月2日(日)	仙石原文化センター
	10月4日(火)～10月24日(月)	さくら館
	10月26日(水)～11月14日(月)	社会教育センター
	11月16日(水)～11月28日(月)	やまなみ荘
	11月30日(水)～12月5日(月)	箱根出張所
	12月7日(水)～12月21日(水)	森のふれあい館

「私の箱根 いまむかし」

私は箱根によく行きます。むかしは主にデート。彫刻の森、海賊船と四季を通して2人の時間を過ごしました。そしていまは、家族や同僚との温泉。強羅、塔ノ沢、湯本の源泉かけ流しの湯と美味しいお酒でこれまた四季を通じて楽しい時間を過ごしています。私の箱根への用途は変わりましたが、変わらないものがあります。それは日本文化である「おもてなし」です。一貫として心まで温かくなる対応をしてくれます。苦手な料理が出た時はサッと別の料理に変え、風邪気味のときは売薬とともに詳しい症状を心配顔で聞いてくれます。私にとって、箱根はリゾート地であると同時に、心が癒える場所なのです。つまり、58歳の私が生まれてから今に至るまで「おもてなし」の心で嬉しくなる場所なのです。
小田原市 井上靖さん



「青春の箱根」

旧街道を歩いて行くとぱっと目の前に芦ノ湖が広がる。うす暗い杉並木になれた目には、初秋の陽光をいっぱいうけ、きらきらと輝く湖はまぶしく、その光景は今でも忘れられない。学生時代の9月、友人と二人で、箱根に日帰り旅行に行った。旧街道を歩いて芦ノ湖に出て、遊覧船に乗り、陽がたたくとともに、刻々と表情を変えてゆく湖を眺めていた。時よ、止まれ…そう願ったが、現実には、そういうわけにもいかない。やがて、学校を卒業し、就職し、子供達も成人していったが、その間も何度か箱根に行った。仙石原のススキの園や大涌谷のような自然景観もよいし、ガラスの森美術館や彫刻の森で芸術に触れるのもよい。ロープウェイで駒ヶ岳に登ると、下から湧き上がるように雲が流れてくる光景も印象的だ。一泊して温泉につかるのもよい。行くたびに新たな発見があり、感動がある。そんな箱根は私にとって「青春」のような場所だ。時よ、止まれ…。 東京都港区 高塩純子さん

